

# 国際火山噴火史情報研究集会（2016年度 No. 1） プログラム

セッション1 噴火史とその関連研究 10：00～12：30

座長：宝田晋治・稲倉寛仁・中西利典

- 1-1. 奥野 充（福岡大）・IZBEKOV, Pavel（University of Alaska-Fairbanks）・NICOLAYSEN, Kirsten P.（Whitman College）・中村俊夫（名古屋大）・SAVINETSKY, Arkady・VASYUKOV, Dmitrii・KRYLOVICH, Olga A.（Russian Academy of Sciences）・MIRANDA, Jonathan・DEACON, Emily・LOOPESKO, Lydia L.（Whitman College）・HATFIELD, Virginia・BRUNER, Kale M.・WEST, Dixie L.（University of Kansas）「アリューシャン列島、フォー・マウンテンズ諸島のテフラと考古遺跡の放射性炭素年代測定」
- 1-2. 田口幸洋（福岡大）・岡村幸紀・糸井龍一・渡辺公一郎（九州大）・アグン ハリジョコ・アイ ワヤン ワルマダ（ガジャマダ大）「バリ島ブヤンーブラタンカルデラおよび周辺の地熱徴候について」
- 1-3. 中西利典（福岡大）・竹村恵二（京都大）・松山尚典（応用地質）・下山正一（佐賀大）・ホン ワン（韓国地質資源研究院）・奥野 充（福岡大）「大分市中島西地区の沖積層ボーリングコアの堆積相と堆積年代、植物片と貝化石の放射性炭素年代値の差異」
- 1-4. 辻 智大・池田倫治（四国総研）・岸本博志（アジア航測）・藤田浩司（アジア航測）・西坂直樹・大西耕造（四国電力）「九重山、飯田火砕流噴火による噴出物の地質学的検討」
- 1-5. 宝田晋治・星住英夫（産総研）「阿蘇 4 火砕流堆積物の分布・体積と火砕流の流動堆積機構」

（昼休み）12：30～13：30

セッション2 熊本地震関係 13:30~17:00

座長：鳥井真之・奥野 充・小林哲夫

- 2-1. 小林哲夫（鹿児島大・名誉教授）「大地震とカルデラ噴火の関連性：2016年熊本地震と阿蘇カルデラを例として」
- 2-2. 遠田晋次（東北大）「平成28年熊本地震の地表地震断層：その特徴と活断層評価への教訓」
- 2-3. 角縁 進（佐賀大）・地学団体研究会九州支部「熊本地震による益城町の被災状況」
- 2-4. 黒木貴一（福岡教育大）・池見洋明（九州大）・奥野 充（福岡大）・山本茂雄（中央開発）・碓井敏彦（新日本グラウト工業）・撰田克哉（日本地研）・徳田充樹（新地研工業）・藤野 晃（第一復建）・矢野寛幸（アサノ大成基礎エンジニアリング）・九州応用地質学会熊本・大分地震災害WG「平成28年（2016年）熊本地震で発生した斜面崩壊の分布と特徴（速報）」
- 2-5. 渡邊 勇・藤見俊夫・北園芳人・鳥井真之・稲本義人（熊本大）「熊本地震による土砂災害リスク増大に対するソフト減災政策」
- 2-6. 鳥井真之・長谷中利昭・北園芳人（熊本大）・田島靖久（日本工営）・西山賢一（徳島大）・奥野 充（福岡大）「2016年熊本地震による阿蘇火山・後カルデラ火山群の斜面崩壊」
- 2-7. 奥野 充（福岡大）・鳥井真之（熊本大）・西山賢一（徳島大）・中西利典（福岡大）・横田修一郎（島根大・名誉教授）・九州応用地質学会斜面災害WG「2016年熊本地震で誘発された阿蘇カルデラ内のアースフロー堆積物」
- 2-8. 奥村 勝・高橋伸弥・鶴田直之（福岡大）「火山露頭データベース及びモバイルアプリの災害時の活用に向けて」